

子どももの国

だより



2007.10.発行 vol.17



● 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」

- ・ 小学生:月曜～金曜日 午後2時～6時
- ・ 中学生以上:都合の良い日を決めて個別指導。

● 青少年の自立支援事業「そら」

- ・ 水曜日 午後6時30分～8時30分

● 青少年の健全育成のための事業

- ・ 問題を抱えた子どもとその家族に対し、随時相談・援助を行う。

写真:7月21日 交流会 みんなで浴衣を着て。

● 交流会

- ・ 奇数月第3土曜日 午後6時～8時

● 「わくわく教室」

- ・ 随時(但し土日と夏休み期間)



ゆめの木教室

ゆめの木教室の夏休み 2007

～夏休みの出席率増加する！～

今年度もゆめの木教室では夏休み期間も 8 月のお盆の 1 週間を除いて、通常通り平日の午後 2 時から 6 時まで活動しました。

子どもたちの夏休みの宿題は、一般的に日誌一冊（48 ページ）、漢字ドリル、算数ドリル、工作、ポスター、習字、作文または読書感想文と実に多いのですが、日本語クラスの子どもたちはその上に「漢字の書き取り 30 ページ」と「100 ます計算 30 枚」などと、こちらが驚くほどたくさんもらってきます。



さあ、ガンバルゾ！

宿題提出後の 8 月の最後の 1 週間は「基礎学力の定着」が目標です。学年ごとに目標を設定し、普段は宿題に追われてできない「音読」でじっくりと内容の確認をし、「算数の文章問題」などについて、初めて学年ごとにグループになって取り組みました。

この学年別グループ学習は夏休み後も機会を作って積極的に取り入れていきたいと思えます。

昨年のゆめの木教室の夏休み活動日数は 24 日間で、在室 25 名（小学生）のうち 15 日間以上通ったのは 12 名、20 日間以上は 4 名でした。しかし、今年は夏休みの活動日数 25 日間で、在室 23 名（小学生）のうち、20 日間以上ゆめの木教室に通ったのはなんと 12 名もいました！今年に中学生になった Y さんや M さんは理科の自由研究や作文のために小学生のころより熱心に通いました。また、遊びたいさかりの子どもたちが、連日 6 時ギリギリまで宿題に取り組みました。このように、子どもたちの出席日数から見ても、毎年少しずつですが、着実にゆめの木教室の子どもたちに勉強する習慣が身につけてきたと感じています。

6 年生では「修学旅行の見学先の見所調べ」「太平洋戦争についての新聞記事の収集」などの難しい調べる宿題が出ます。

ゆめの木教室の子どもの家庭で、日本の新聞を購読しているところは一軒もいません。そこで、スタッフが自宅から新聞を持ち寄り、8 月 20 日にゆめの木教室の 6 年生 4 人で一斉に自分たちで新聞から記事を探して切り取りました。



音読上手になったよ！



スタッフも真剣！！



ひと休み ひと休み。

そら



昨年度に続いて、今年度も そら には国籍を問わず同年代の高校生、派遣社員、フリーターと様々な所属の青少年達が集っています。そして、それぞれが日々の生活で感じたことや関心のある事、また各自の仕事に対する意識について話をしてきました。

そんな中、よく参加してくれる青少年のうち、三人が工場でのフルタイムで勤務する仕事を「多少のことでは辞めず、長く働きたい。」というしっかりとした意思を持ち、続けられています。

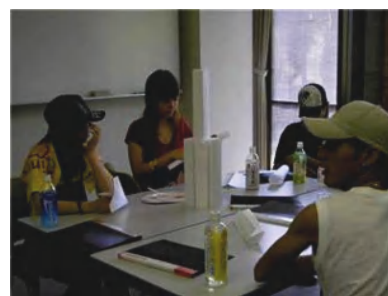
そら に作業着のまま「今日も疲れたよー。お腹空いたな。」と言いながらも、笑顔を見せてくれる彼らを頼もしく思います。そんなメンバーは仕事での出来事や職場の人の話をスタッフに元気に伝えてくれます。工場で上司や同僚と関わる中で、彼らはたくさんの社会勉強をしているようです。

また、働いていないメンバーも仕事の話に関心を持ち、どんな業務なのか、送迎はあるのか、時給はいくらかといった条件を聞き、自分に出来るかどうかを考えています。自分に自信が持てないのか、慎重に考え過ぎ、決心して働き出す一歩をなかなか踏み出せないでいるメンバーもいます。スタッフは見守りつつ、メンバーからの要求がある時には、求人情報等を提供しています。

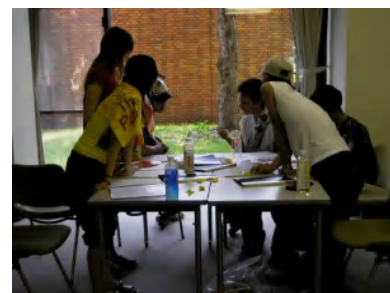
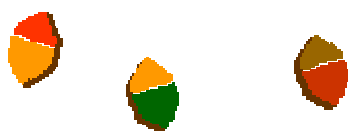
【8月5日（日）そらセミナー】 場所：藤岡町「つどいの丘」時間：AM9:00～PM9:00

今年度、青少年たちは比較的落ち着いた状況で夏を迎えることが出来たため、そら では「時間をかけて自分を見つめ、他人との違いを知り、自己を知る」ことを目的として「そらセミナー」と題し、ワークショップ形式の日帰り合宿を企画しました。

青少年は6人、スタッフも6人の計12人で、保見から少し離れた藤岡町にある「つどいの丘」へ行きました。合宿の内容は、青少年チームとスタッフチームに別れて、「紙のみを使ってどちらのグループがより高いタワーを作れるか」を競うアイスブレイクから始まり ①あるストーリーの人間模様から、登場人物に（自分が思う）好感度順位を付け、自己と他者との価値観の違いを知る実習 ②各自が自分の短所を出し、周りの人がその短所を長所に変えていく実習 ③キーワードに沿って「過去」「現在」の自分を振り返り「未来」について考える実習 といった三つのグループワークを青少年とスタッフの混合チームで行いました。セミナーの場所がいつもの保見 とは違うこともあり、青少年たちは新鮮な気持ちでワークに取り組めたようで、自分自身をたくさん表現してくれました。スタッフもいつもとは違った切り口で彼らと話をすることができたので、彼らの想いや人間性をより汲み取ることができたように感じます。また、ワークの間に青少年とスタッフは一緒に昼食を食べ、午後にはスポーツ（バスケで対戦）の時間も設け、夕食のテーブルを囲むころには青少年とスタッフの心の距離はずっと近くなったように感じました。青少年たちからも「ワークが面白かった。今日来られなかったメンバーとも そら の時間でまたやってみたい。」と感想がありました。彼らが望むならばなお、今後もこのような企画を一緒に考えていけたらと思っています。



そらセミナーワークの様子





交流会



二ヶ月に一度行われる交流会では、ゆめの木教室に通う子どもたち、その親御さん、そしてスタッフが集まり、誕生日会、食事会等を行います。

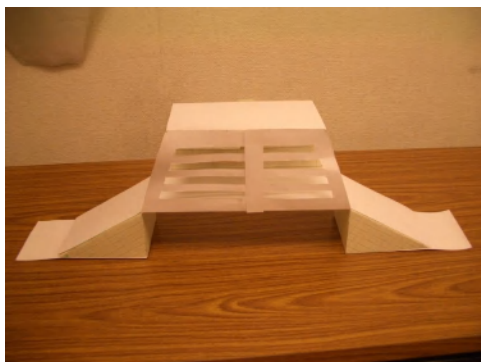
交流会はいつものゆめの木教室と違って勉強は一切なし。思いっきり食べて、思いっきり遊びます。

日が完全に沈んだ暗い室内がお化け屋敷に大変身。スタッフがお化けに扮するかと思いきや、子どもたちがスタッフを驚かしてくれました。子どもたちだけで道順を決め、誰が何の役をするのかを分担し、効果音も付けて、スタッフを大いに怖がらせてくれました。子どもたちが主体となり物事を進めていく、普段遊ばない子とも協力して一つのものを作りあげていく姿に、子どもたちの成長が見られました。

九月に行われた交流会では、夏休みの出席多数の子と、ゆめの木プリントに沢山取り組んだ子の表彰を行い、多くの子が表彰されました。子どもたちが何を頑張ったか、何に力を入れているかを認め合う、いい機会でした。



コマ作り 七夕 お誕生会



夏休み 工作&習字 がんばりました！！



NPO 法人 子どもの国



ホームページ <http://www.kodomonokuni-aichi.org/>

メールアドレス kodomonokuni1999@yahoo.co.jp

